

## 2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社Birdman 上場取引所 東  
 コード番号 7063 URL <https://www.birdman.ne.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 晃洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼CHRO (氏名) 三橋 秀一 TEL 03(6865)1322  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第3四半期の連結業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	3,494	—	178	—	167	—	128	—
2022年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 131百万円 (—%) 2022年6月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	25.15	25.09
2022年6月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2023年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、当第3四半期の対前年同四半期増減率、2022年6月期第3四半期の連結経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	2,407	647	26.8
2022年6月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 644百万円 2022年6月期 一百万円

(注) 2023年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年6月期の連結財政状態については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,096	—	378	—	364	—	272	—	53.17

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 2. 2023年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。  
 3. 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年6月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期3Q	5,118,100株	2022年6月期	5,104,400株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	176株	2022年6月期	176株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期3Q	5,109,965株	2022年6月期3Q	5,096,234株

（注）当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	6
(追加情報) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染者数の減少に伴い各種制限が段階的に緩和され、社会経済活動の正常化の兆しが見られた一方で、ウクライナ情勢の長期化や急速な為替変動により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下において、マーケティング・トランスフォーメーション事業（以下、「MX事業」という。）では、案件獲得能力の組織的強化、各案件の収益性向上及び社員の生産性向上に取り組みました。また、現在大型案件の競合プレゼンにおける案件獲得率は高い状況にあり、組織として継続して案件を獲得していくため、事業部を横断してナレッジを共有することで、案件を通じた社員の教育等にも取り組んでおります。

エンターテインメント・トランスフォーメーション事業（以下、「EX事業」という。）では、より多くのファンの皆様に7ORDERのパフォーマンスを届けるため、2023年4月9日開催の宮城・仙台サンプラザホール公演を皮切りに、2023年5月12日開催の大阪・大阪城ホール公演まで、全国7都市11公演となったホールアリーナツアー「7ORDER LIVE TOUR 2023 DUAL」の追加公演を、2023年6月3日と4日に武蔵野の森総合スポーツプラザで開催することを決定しました。

EX事業を構成する当社100%子会社の株式会社Entertainment Nextでは、日本発・韓国を中心としたアジアで世界を眺望し飛躍するアーティストが一堂に会する国内最大級のフェスティバル「KROSS vol.1-kpop masterz-」を2023年1月2日にバンテリンドームナゴヤで初開催しました。また、2023年2月25日と26日には、有明アリーナで「KROSS vol.2」を開催し、2023年4月1日と2日には、幕張メッセ国際展示場展示ホールで「MBC IDOL RADIO LIVE in JAPAN」を開催しました。

また、ヨーロッパ最大規模となるK-POPコンサート「K.FLEX（ケーフレックス）」の姉妹フェス「KPOP LUX（ケーポップ ラックス）」の日本国内興業権を取得したことにより、今後4年間にわたり日本で共同開催をする予定であります。さらに、韓国の夏を代表する大型音楽フェス「WATERBOMB」の日本版「WATERBOMB JAPAN 2023」を、2023年7月15日と16日に大阪、7月22日と23日に名古屋、7月29日と30日に東京でそれぞれ開催する予定であり、当社グループ一丸となって準備に取り組んでおります。

以上のとおり、新規事業のエンターテインメント領域に投資を継続することにより、売上高や利益のみならず、ナレッジやIPの獲得を進めてまいります。

上記の影響もあり、第3四半期連結累計期間として過去最高の売上高を更新しました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は3,494,737千円、営業利益は178,231千円、経常利益は167,501千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は128,561千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①MX事業

MX事業では、顧客の企業としてのブランド価値や商品・サービスのブランド価値を高めるべく、一般消費者へのイメージアップや認知度・購買意欲の向上等を図るためのソリューションを提供しております。そのため、顧客の顕在化したニーズだけではなく潜在的なニーズも引き出し、各ニーズに合うような様々なサービスを組み合わせた提案を行い、元請から下請に至る多段階構造ではなくワンストップでソリューションを提供し、既成概念を打ち破るクリエイティブとビジネスソリューション、それらを実現するテクノロジーを駆使したアイデアを実装していきます。MX事業では、コンサルティング会社・広告会社・PR会社等縦割りで進めていたビジネスを内製化により一貫通貫することで、迅速な対応及び顧客へコストメリットを創出することができ、企業や社会の挑戦に伴走します。

なお、売上高は1,548,412千円、セグメント利益は302,742千円となりました。

## ②EX事業

EX事業とは、エンターテインメント・トランスフォーメーション事業の略語で、エンターテインメント業界をアップデートするべく、当社グループの主力事業領域であるクリエイティブやデジタル・テクノロジーを駆使し、新進気鋭のアーティストやクリエイターと連携しながら新しいエンタメの形を創出する事業であります。わが国においては、通信やデジタル・テクノロジーの発達で、リアル空間からデジタル空間をストレスなく、シームレスに行き来できるようになってきており、新しいエンターテインメントの形や次世代のエンターテイナーが次々と生まれようとしております。このような状況下において、当社グループが従来から有するブランディング・広告プロモーションやデジタル・テクノロジーの知見を駆使して、型にとらわれずジャンルレスに生きる次世代アーティスト・クリエイターがファンとの新たなコミュニケーションや関係を構築でき、スターになるためのプラットフォームを実現します。

なお、売上高は1,946,325千円、セグメント利益は121,908千円となりました。これには、2022年7月1日付で設立した株式会社Entertainment Nextの収入が含まれております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、2,123,814千円となりました。主な内訳は、現金及び預金1,082,660千円、受取手形、売掛金及び契約資産520,188千円、前払費用421,636千円であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、283,624千円となりました。主な内訳は、有形固定資産58,365千円、投資その他の資産205,463千円であります。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、1,109,000千円となりました。主な内訳は、買掛金165,579千円、短期借入金500,000千円、1年内返済予定の長期借入金277,377千円であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、650,850千円となりました。内訳は、長期借入金650,850千円であります。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、647,588千円となりました。主な内訳は、資本金397,089千円、資本剰余金387,089千円、利益剰余金△142,511千円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想につきましては、2023年2月13日の「第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の当社グループ業績に対する影響やリスクにつきましては、2023年6月期中は影響が続くと仮定を置き連結業績予想に織り込んでいますが、今後連結業績予想の修正を必要とするような事象が発生した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,082,660
受取手形、売掛金及び契約資産	520,188
未成業務支出金	2,120
前払費用	421,636
その他	100,974
貸倒引当金	△3,765
流動資産合計	2,123,814
固定資産	
有形固定資産	58,365
無形固定資産	19,795
投資その他の資産	205,463
固定資産合計	283,624
資産合計	2,407,438
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	165,579
短期借入金	500,000
1年内返済予定の長期借入金	277,377
未払法人税等	14,207
その他	151,835
流動負債合計	1,109,000
固定負債	
長期借入金	650,850
固定負債合計	650,850
負債合計	1,759,850
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	397,089
資本剰余金	387,089
利益剰余金	△142,511
自己株式	△165
株主資本合計	641,501
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	3,358
その他の包括利益累計額合計	3,358
新株予約権	2,728
純資産合計	647,588
負債純資産合計	2,407,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	3,494,737
売上原価	2,876,437
売上総利益	618,300
販売費及び一般管理費	440,068
営業利益	178,231
営業外収益	
受取利息	7
利子補給金	1,351
為替差益	198
その他	592
営業外収益合計	2,149
営業外費用	
支払利息	6,042
持分法による投資損失	4,529
支払解決金	1,799
その他	507
営業外費用合計	12,879
経常利益	167,501
特別利益	
固定資産売却益	1,636
貸倒引当金戻入額	5,000
新株予約権戻入益	523
特別利益合計	7,159
特別損失	
固定資産除却損	1,548
特別損失合計	1,548
税金等調整前四半期純利益	173,113
法人税、住民税及び事業税	41,768
法人税等調整額	2,782
法人税等合計	44,551
四半期純利益	128,561
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	128,561

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	128,561
その他の包括利益	
持分法適用会社に対する持分相当額	3,358
その他の包括利益合計	3,358
四半期包括利益	131,920
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	131,920
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社Entertainment Nextを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積りにおける一定の仮定)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。